

月周回衛星(SELENE)に係るシンポジウムの開催結果について

平成18年8月23日
宇宙航空研究開発機構

1. 報告事項

平成18年7月31日に行われた月周回衛星(SELENE)シンポジウム「カウントダウン SELENE～月探査の新世紀～」の開催結果について報告する。

2. 開催目的

平成19年度打上計画の月周回衛星(SELENE)について説明するとともに、我国の月探査計画や、海外の宇宙機関が取り組んでいる月探査計画の紹介、月探査にかかわるパネル討論を行い、月周回衛星(SELENE)及び将来の月探査に対する理解を得る。 [別紙:プログラム参照]

3. 開催概要

(1) 開催日時・場所

開催日時 : 平成18年7月31日(月)10:00～17:20
開催場所 : 経団連会館

(2) 参加者: 約510名

開催にあたっては、新聞、雑誌等への記事掲載、公開ホームページ等により一般を対象とした周知活動や、関係者へ招待状を発送した他、大学及び高校等の教育機関にも開催案内を送付した。

< 内訳 >

・一般来場者	約390名
・講演者	約20名
・招待客関係	約10名
・プレス関係	約30名
・JAXA 役職員	約60名

4. 開催結果

(1) 基調講演 「JAXA の月惑星探査構想」

長期ビジョンに基づく JAXA の月・惑星探査の構想、月・惑星探査推進チームの活動状況や探査戦略の基本的な考え方、また、10年後程度を見据えた目標例を紹介した。

(2) 第一部 「我が国の月探査計画」

SELENE について、目的、科学的目標、衛星構成及び打上げに向けた準備状況、さらに JAXA が目指す SELENE 計画以降の月探査・利用の検討状況を報告した。

(3) 第二部 「世界各国の月探査計画」

米国、イタリア、インド、中国の代表者がそれぞれの国・機関が開発中の月探査機や今後の月探査の計画について説明した。

(4) パネルディスカッション「SELENE 及び将来の月探査への期待」

月科学者、天文学者、米国 NASA の月探査戦略の立案者、月利用や有人活動のための技術者、及び宇宙開発に関わる文化活動家が参加するパネル討論を行い、SELENE 計画への期待、将来の有人活動を含む月探査の目標について、多様な視点で議論した。

5. まとめ

一昨年シンポジウムに引き続いての2回目の開催であったが、今回は SELENE の打上げが来年に計画されていること、また、NASA、中国、インドの月探査計画も具体的に進んでいることから、これらの紹介を含めて、JAXA 長期ビジョンの一つである月探査計画への理解を深めてもらうことを主旨として開催した。

また、将来の宇宙開発の担い手になりうる若い人達にも参加がしやすいよう、夏休みの企画として行い、学生、教育関係者も多数の参加が得られた。

アンケート結果によると、参加者の反応は概ね好評であり、当初の目的である、SELENE 及び将来の月探査計画への理解をもらうことは、ほぼ達成できたものと思われる。

今回の成果を踏まえ、参加者が引き続き SELENE や JAXA の月・惑星探査、さらに我が国の宇宙開発計画へのよりよいサポーターとなってもらえるよう、情報発信をこころがけたい。

事前申込者の内、欠席された方がいたものの、当日申込みが約110名も加わったため、本シンポジウム延参加者は約510名となった。一時は定員超えで補助椅子および立見による参加をお願いする場面もあった。

以上

月周回衛星(SELENE)シンポジウム
プログラム

司会 滝澤 悦貞(JAXA/SELENEプロジェクトマネージャ)
アシスタント 佐々木 薫(JAXA/国際部)

- (1)開会の挨拶 立川 敬二 JAXA 理事長
- (2)基調講演 「JAXA の月惑星探査構想」
樋口 清司 JAXA 理事/月惑星探査推進チーム長
- (3)第1部 「我が国の月探査計画」
月周回衛星(SELENE)の紹介
SELENE について : 滝澤 悦貞(JAXA/SELENEプロジェクトマネージャ)
SELENE の科学について : 加藤 學
(JAXA/SELENEサイエンスマネージャ/宇宙科学研究本部教授)
我が国の将来の月探査計画 : 川口 淳一郎
(JAXA/月惑星探査推進チーム事務局長/宇宙科学研究本部教授)
- (4)第2部 「世界各国の月探査計画」
(a) アメリカ: Neil Woodward (NASA), Matt Forsbacka (NASA)
(b) イタリア: Andrea Lorenzoni (ASI)
(c) インド : Narendra Bhandari (ISRO)
(d) 中国 : Geng Yan (CNSA), Huixian Sun (CAS)
- (5)パネルディスカッション 「SELENE 及び将来の月探査への期待」
コーディネイタ: 高柳 雄一(多摩六都科学館館長)
パネリスト:
NASAの月探査計画: Neil Woodward (NASA)
惑星科学面から見た月探査: 武田 弘 (東京大学名誉教授)
月面天文台から見た月探査: 観山 正見(国立天文台台長)
月面有人技術から見た月探査: 吉田 哲二
(清水建設(株) 技術研究所 研究開発部長)
有人宇宙活動から見た月探査: 山崎 直子(JAXA 宇宙飛行士)*
月へのロマン(SF 分野): 小川 一水 (SF 小説家)
月へのロマン(芸術家): 佐藤 百合子(陶芸家)
* 山崎宇宙飛行士は訓練の都合により、ビデオメッセージでの参加。
- (6)閉会の挨拶 井上 一 JAXA 理事

以上